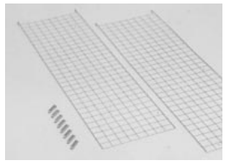
STANDARD ERECTA SHELF

多彩なパーツで組み方自在、さらに機能的に!

「掛ける」

●ストレートフック
メッシュパネル用のフックです。

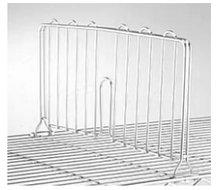
●メッシュパネル
ストレートフックを掛ける以外に
落下防止用カバーとしても便利。



「仕切る」

●ロッド & タブ
各段の棚を、縦割りで一気に間仕切ります。

●ディバイダー
ブックエンドタイプの間仕切りです。



「防ぐ」

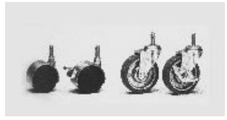
●バックレッジ
高さは50mmと100mmの2タイプ。

「示す」

●ピンマーカー
棚にはめ込むサインプレートです。

「動かす」

●キャスター
小回りの利くカートや、
棚のレイアウト変更に。



「演じる」

●ウッドシェルフ
MDF、メープル木目シート貼り。

「護る」

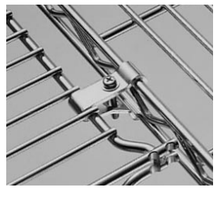
●ファッション・アジャストボルト
微妙な高さ調整が可能です。

●三角フットプレート
床にボルトで固定できます。

●メタルマット
荷重を分散する三角マットです。

「つなぐ」

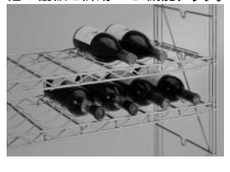
●コーナーブレース
柱を共有して棚を直角に連結します。



●ジョイニングクランプ
柱を連結し、ズレを防止します。

「並べる」

●ワインシェルフ
他の棚板と併用でき、機能アップ。



エレクター株式会社
本社:〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー8F
TEL.03-5766-8166(代) FAX.03-5766-8191
支店・営業所:大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
●商品についてのお問い合わせは カスタマーサービス
フリーダイヤル 0120-70-7532 (受付時間/9:00~17:30 土・日・祝日を除く)
エレクターホームページ http://www.erecta.co.jp

ERECTA 取扱説明書

スタンダードエレクターシリーズ

スタンダードエレクター／ワインシェルフ

この度は、エレクター製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書を良くお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

スタンダードエレクター

ワインシェルフ

ご使用前に必ずお読みください

■ **組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。**
※ 商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

■ **組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。**
※ 誤った組み立ては破損やケガの原因となります。

■ **この説明書は棚板の組み替え、解体時に必要となりますので、組み立て後もお手元に保管してください。**

■ **お取扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下や事故については責任を負いかねます。**

■ **他社製品を併用した組み付けはおやめください。**

■ **下記の「警告・注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。**

警告・注意

警 告

●耐荷重を超えて物を載せないでください。
下記の耐荷重を超えた負荷を与えると、棚が破損して重大な事故となる可能性があります。多段でご使用の場合は各段に平均に荷重を分散してください。

- **床上に設置する場合**
  本製品の耐荷重は棚板一段あたり、 間口1220以下：250kg（等分布）です。
  間口1520以上：150kg（等分布）です。
  ただし多段組みにした場合の総耐荷重は、1000kg（本体の自重を含む）です。
- **専用単独キャスターを装着する場合**
  棚にかかる負荷、路面の状況、使用環境等を考慮のうえキャスターを選定してください。
  多段組みにした場合の総耐荷重は、200kgです。
- **専用ドーリーを装着する場合**
  重量物の運搬や、移動が頻繁な場合は専用のドーリーをご使用ください。
  多段組みにした場合の総耐荷重は、300kgです。

●本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。
転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。

●商品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。

注 意

●組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。
●傾斜した所や、段差があるなど不安定な場所には設置しないでください。転倒や積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。
●棚板の取付位置を変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。
積載物の破損やケガなどの原因となります。
●単独キャスターまたはドーリーを取り付ける場合には、柱の破損を防ぐため必ず柱の最下段に棚板を取り付けてください。
●設置場所の移動の際には、積載物をすべて降ろし柱を持って移動してください。

ご使用上の注意

●棚板のメッシュより小さいものは、落下して破損する原因となりますので載せないようにしてください。
●酸／アルカリ性の強い、悪影響下での使用は避けてください。
●清掃の際には中性洗剤をご使用し、水分が残らないよう乾いた布で拭き取ってください。
●本製品は磁気を帯びる場合があります。
テレビ、パソコンモニタ等の電化製品の中には、磁気の影響を受ける場合があります。
万一異常が生じた場合は、対象機器のメーカーや販売店などにお問い合わせください。

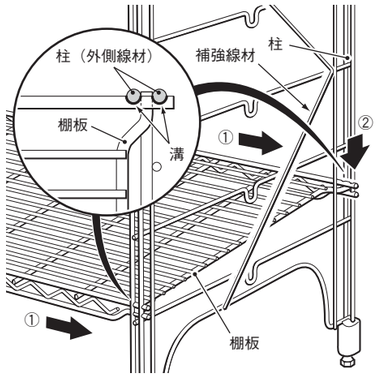
組み立て

●ドーリー/キャスターを取り付ける場合、最初に右ページを参照のうえ棚を組み立てる前に柱にドーリー/キャスターをセットしてください。

※棚板は下段から順に一段づつ組み立てます。

1 組み立ては下段から

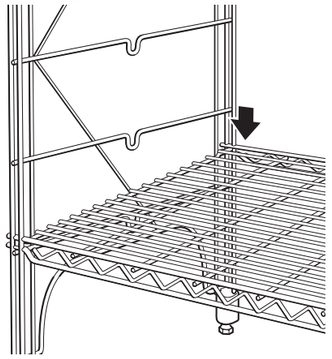
補強線材が外側になるように柱を立てます。
棚の取り付け位置を決め、棚板を斜めにして溝を外側線材に合わせてはめ込みます。



2 反対側柱の組み付け

1 と同様に棚板の溝を柱の縦線材に合わせてはめ込みます。

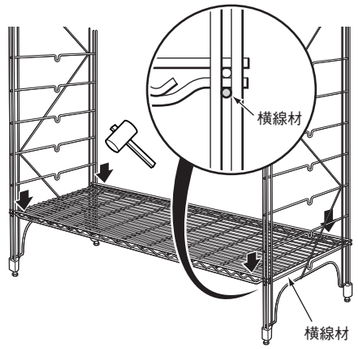
ご注意 柱の横線材にあたるまでたたき込んでください。



3 棚板を固定する

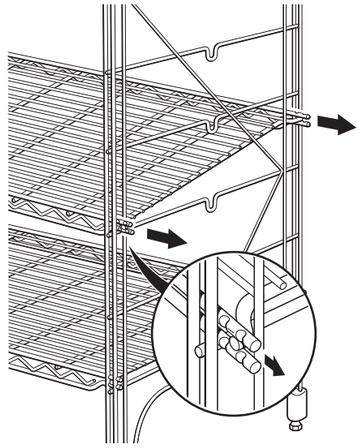
棚板の四隅を交互に木槌またはプラスチックハンマーでたたき、棚板を固定にします。

ご注意 左右の柱の段がズレないように棚板を差し込んでください。



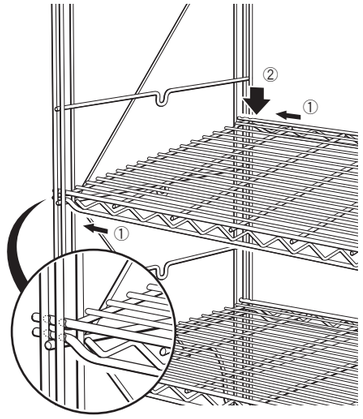
4 2段目棚板の差し込み

棚板を斜めにして、柱の内側より当たるまで差し込みます。



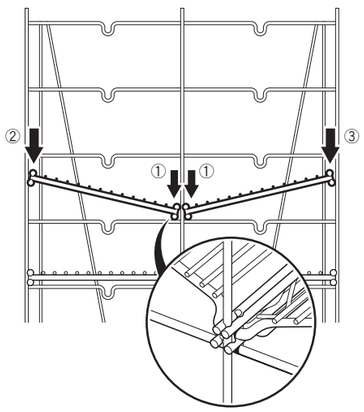
5 2段目棚板の固定

棚板を反対側に戻しながら、棚板の四隅の溝を左右の外側線材に噛み合わせます。
3 の要領で棚板を固定します。



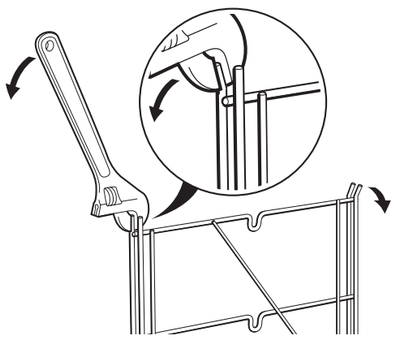
L柱にSサイズシェルフを並列に取り付ける場合

2枚の棚板をV字型に向かい合わせて柱の中央線材に溝を噛み合わせ、棚板の外側を交互にたたいて固定します。



6 柱の最上段へ組み付ける場合

柱の最上段に棚板を組み付ける際は、外側線材の最上部をモンキースパナなどで外側に広げて、棚板を入れます。棚板を組み付けたのちに外側線材を元に戻します。



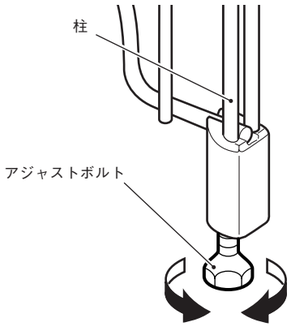
7 組み立ての確認

組み上がりましたら、歪みやガタつきがないか、もう一度確認します。

8 レベル調整のしかた

柱底部のアジャストボルトを回し、脚部高さを調整してガタツキがないようにしてください。

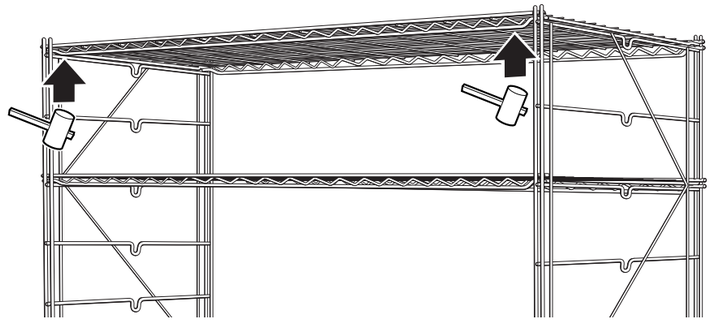
ご注意 棚が水平になるよう確実に調整を行ってからご使用ください。



棚板の組み替え・解体

棚板の取り外しは最上段から行ってください。木槌またはプラスチックハンマーで、棚板の前面両端を下から交互にたたいて外します。

ご注意 解体の際は、積載物をすべておろし、棚板の落下や柱の転倒に十分注意して作業をしてください。

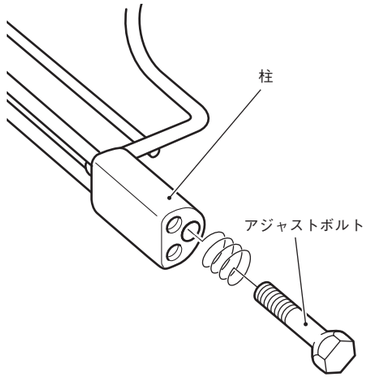


ドーリーの取り付け

●必ず柱の最下段に棚板を取り付けてください。

1 アジャストボルトの抜き取り

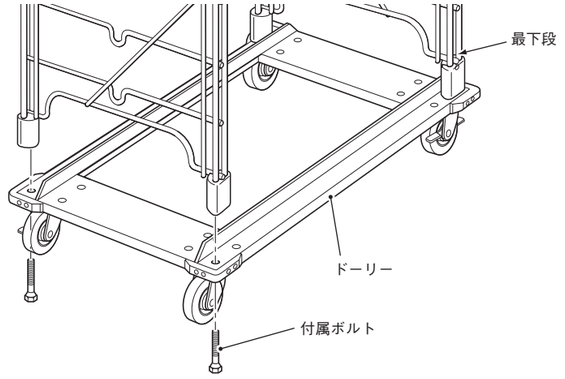
柱下端のアジャストボルトを抜き取ります。



2 ドーリーと柱の取り付け

ドーリーに付属のボルトを使用し、柱とドーリーの孔位置を合わせ、下からボルトをねじ込んで固定します。

棚を組み立てた後、ボルトを本締めしてください。



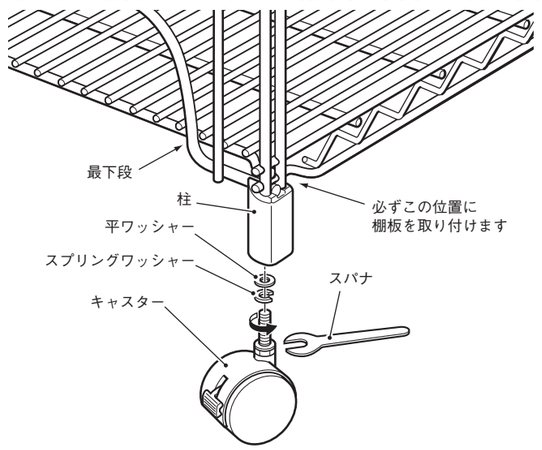
キャスターの取り付け

●必ず柱の最下段に棚板を取り付けてください。

1 キャスターの組み付け

●DR50/DRS50の場合

ドーリーの取り付け 1 を参考にして柱下部のアジャストボルトを取り除きます。次にスプリングワッシャー、平ワッシャー、キャスターのネジ部分の順に差し込み、付属のスパナで動かなくなるまで締め込みます。



●R75/S75の場合

ドーリーの取り付け 1 を参考にして柱下部のアジャストボルトを取り除きます。次にキャスターのネジ部分を差し込み、8角形のナット部分を回してねじ込み、プライヤーで動かなくなるまで締め込みます。